

『新型コロナウイルス感染拡大による周産期メンタルヘルスへの影響についての後方視的調査』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	新型コロナウイルス感染がもたらした生活様式の変化などが周産期メンタルヘルスに与える影響を明らかにし、より良いメンタルヘルスケアに役立てることを目的として行っています。
研究の方法	この調査では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、産後1 カ月健診外来時に記載して頂いた、エジンバラ産後うつ病質問票と赤ちゃんへの気持ち質問票の値や、分娩記録に基づく情報（年齢、出産週数、産科的合併症の有無、分娩様式、初産婦または経産婦か、児の出生時体重、児のアプガースコア）についての記録を集計させていただきます。
対象者	2017年4月1日から2022年12月31日のあいだに、当院で産後1 カ月健診を受診された全ての方を対象としています。
利用する試料/情報	情報等 <u>研究対象者背景</u> 識別コード(各研究対象者に割付けた固有の識別番号)、分娩記録に基づく患者背景情報（年齢、出産週数、産科的合併症の有無、分娩様式、初産婦または経産婦か、児の出生時体重、児のアプガースコア） <u>周産期メンタルヘルスのスクリーニング評価項目</u> エジンバラ産後うつ病質問票と赤ちゃんへの気持ち質問票
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録から取得
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	日本周産期メンタルヘルス学会で発表予定。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2024年7月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 精神科/医師/辻野 尚久
問い合わせ先	〒230-8765 横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 心理室/相川祐里